

～震災から始まった魅力ある集落づくり～

長野県栄村 小滝集落

2011.3.12 長野県北部地震発生
3:59

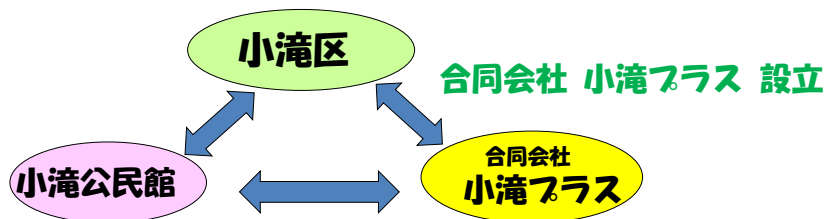


300年後に集落を引き継ぐ 集落の復興計画を策定



3本柱

- ①あきらめない積極的な発想による暮らしやすい環境整備
- ②地域資源の見直しと活用
- ③集落以外の人々との交流活動



学びを生かした活動あれこれ

- 小滝集落震災復興計画の策定（全員の想いを入れる）
- 震災体験記録集作成「あの瞬間を忘れない」
- 交流の拠点づくり（被災古民家再生）
- お米の拠点づくり（被災施設の再活用）
- 古道ウォーク（資源活用、交流イベント）
- 田植え祭り（資源活用、交流イベント）
- 稲刈り祭り（資源活用、交流イベント）
- 暮らしと営みの体験（資源活用、交流イベント）
- 小滝の夜学（飲み語り小滝を知る）
- 屋号板の取り付け（我が家に誇りを）
- 交流活動から商品開発（米のブランド化コタキホワイト+仕事を作る）
- 移住者の受け入れ（3世帯が移住）
- 伝統文化、暮らしを学ぶ（歴史、食、工芸）
- 誰もがいいなと思える里山づくり
- ヤマトツツジ500本植栽プロジェクト
- 法人設立：合同会社「小滝プラス」全戸が社員
- 集落を知る、集落に積極的に関わる活動の全てがひとづくり

全てが300年後につなげる定住対策

何ととっても最大の資源は小滝のひと



**暮らして楽しい 来てみて楽しい
キラキラ光ってる小滝であいたい**